

民宿開業50周年

ありがとう50年

1974年

2024年

わすけについて…



スーパーを始めた頃



昔の玄関



NO. 1

都会に生まれ育った方には理解しづらいかもしませんが、田舎の集落って同じ苗字の家が多いんです。それで、田舎文化として、屋号が発達(?)しました。わすけの近所では、“かつえん”という屋号の佐藤さん。”なおえん”という佐藤さん。”みのわ”という佐藤さんなど。

わすけは、和助という人が江戸時代中期に佐藤家から分家に出て以来、“わすけ”という屋号で呼ばれるようになり、父親が民宿を始める際にも迷うことなく「民宿わすけ」となりました。民宿を始める前にも、小売店をしたり行商をしたり、米問屋をしていたそうです。いずれも店名は屋号と同じ“わすけ”だったそうです。

※“かつえん”的由来は勝衛門。

“なおえん”的由来は直左衛門らしい

(九和助)



50周年パーティー

45周年の時に作成した動画はこちらのQRコードをクリック！



総合司会は
頬城酒造の八木社長
良い声してました。餅つきに
はじまりビンゴゲームに
オークション。アトラクション
満載でした。



みなさん真剣に九代目の話を聞いています

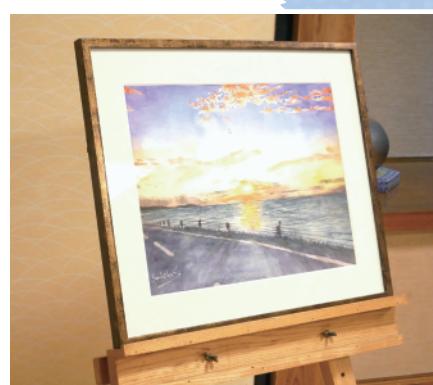


やっぱりお祝い事と言ったら「もちつき」ですよね。地元で栽培された「こがねもち」というもち米を蒸して、ゲストと餅つきを行ないました。よいしょ～よいしょ～の掛け声で杵が振り下ろされ、立派なお餅が完成しました。出来上がったお餅は、お吸物替わりのお雑煮で振舞われました。
(さちこ)



大工さんや設備屋さん、農家さんなどの取引先の方や、お得意先をゲストとしてお招きして50周年の記念パーティーを開催しました。参加された方からお祝いのお花を沢山頂戴し、盛大な記念パーティーを行うことができました。

(さちこ)



朝食会場であるダイニングには、私の描いた水彩画を飾っています。おかあちゃんから「50周年記念パーティー」ではさっちゃんの絵をオークションにかけよう！」とむちゃ振りが来て、嫁としては断ることができず、この日の為に絵を一枚描きました。

わすけの近くの海岸から見える夕日を描きました。オークションでは、な、な、な、なんと、2万5千円という高値で、東京からお越しただいた、私と同じ名前のさちこさんが落札されました。なんとなく運命みたいなものを感じました～(笑)

(さちこ)